

雨蛙不孝

梗概 雨蛙は大変アマノジャクであった。親の言うことを聞かないで潮を汲んでこいというと水を汲んできて水を汲んで来いと言うと潮を汲んできた。それで親はこの子はアマノジャクだから私が死んだとき墓に埋めなさいと言えば川原に埋めるだろうと思い、反対に（川原に埋めなさい）と言った。ところが親不孝だったことを反省した子供（雨蛙）は親の言うとおりにしなくてははいけないと思い、親を川原に埋める。それで雨が降ると私の親が流されはしないかと雨蛙はガークガーク鳴く。

話者情報 1915（大正 4）年生まれ 女性

記録日 1982 年 9 月 22 日

分類 動物昔話